

県政の動き

12月20日(木)～2月20日(水)

★は写真入りで紹介

12月21日(金)

★「九州・山口の近代化産業遺産群」を世界遺産にするための提案書提出

12月25日(火)

がん患者サロンの設置および開設式

1月9日(水)

★ねんりんピック鹿児島2008 PRキャラバン隊出発式

PRキャラバン隊出発式

1月11日(金)

桜島火山爆発総合防災訓練

1月16日(水)

★第14回鹿児島・シンガポール交流会議

1月16日(水)～22日(火)

かごしま将来ビジョンに係る地域別懇談会

1月20日(日)

平成19年度かごしま地域塾推進大会

1月22日(火)

★第31回知事と語る会(垂水市)

1月24日(木)

薩摩大使会議

1月24日(木)～25日(金)

★「鹿児島のタペ」の開催および首都圏における県産品や観光のPR

1月31日(木)

「はじめてのエネルギー通勤」における「通勤事業所の表彰および認証

2月1日(金)～3日(日)

★「フラワーエスタインかごしま2008

2月5日(火)

★国民保護共同図上訓練

2月9日(土)

自殺対策全国キャラバン鹿児島大会

2月14日(木)

観光までこる県民運動シンポジウム

2月15日(金)

★地域高規格道路「都城志布志道路」の通り初めおよび開通式典

★地域高規格道路「都城志布志道路」の通り初めおよび開通式典

12月21日(金)

「九州・山口の近代化産業遺産群」を世界遺産にするための提案書提出

文化庁において伊藤知事をはじめ、長崎県知事、福岡県副知事など6県11市の関係者が共同で、「九州・山口の近代化産業遺産群」の世界遺産暫定一覧表追加のための提案書を青木保文化庁長官に提出した。

当遺産群は、昨年度の提案において「継続審議」とされ、その後、幹事県である本県が中心となり、九州・山口の関係自治体と協力しながら、提案内容の充実を図ってきたものである。

現在、文化庁の世界文化遺産特別委員会で審議されている。



1月9日(水)

ねんりんピック鹿児島2008 PRキャラバン隊出発式

60歳以上の方々を中心としたスポーツ、文化、健康と福祉の全国規模の祭典「ねんりんピック鹿児島2008」の開催に向けて、PRキャラバン隊が県庁を出発した。

大会マスコット「さくらじまん」やキャンペーンスタッフなどが、県実行委員会会長である知事のメッセージを持参し、南さつま市と南大隅町立神山小学校を訪問した。

今後も、PRキャラバン隊は市町村や一県交流運動協力校を訪問する予定。



1月16日(水)

第14回 鹿児島・シンガポール交流会議

シンガポールにおいて鹿児島・シンガポール交流会議を開催し、観光交流の促進、スパ産業と温泉文化の融合および本県農林水産物の輸出促進への協力など、15項目について合意した。特に今回は、「鹿児島の食」のPRに重点を置き、セミナーや商談会を開催したほか、本県農水産品を使った料理をはじめ、シンガポール政府から特別の許可を受けた黒牛・黒豚の料理も提供し、好評を博した。

また、観光セミナーや観光展なども開催し、鹿児島の魅力を広くアピールした。



1月22日(火)

第31回知事と語る会(垂水市)

今回で第31回となる知事と語る会が垂水市文化会館で開催され、約400人の方々が参加した。



知事と語る会のようす。

桜島と薩摩半島間の架橋建設、高齢化社会における医療制度のあり方、減少する消防団員の確保など、さまざまな質問・要望があり、伊藤知事と意見を交換した。

また、知事は語る会にあわせて、垂水市のさやいんげん栽培やカブチ・ブリ養殖の状況、ペットボトル入り温泉水の工場などを視察した。



くず葛製品の工場を視察。

1月24日(木)～25日(金)

「鹿児島のタベ」の開催および 首都圏における県産品や観光のPR

1月24日、東京都内のホテルにおいて、薩摩大使など約570人を招いて「鹿児島のタベ」を開催し、「本物。鹿児島県」をテーマに本県特産品や農林水産物、「篤姫」などをPRした。

1月25日には、東京プリンスホテル内のレストランで「鹿児島フェア」が2月1日から開催されるのに先立ち、旅行エージェントなどを招いてメニュー試食会を開催し、本県の本物の食材や観光をPRした。



東京プリンスホテル

また、1月23日から28日まで、イトーヨーカドーの首都圏34店舗において「鹿児島フェア」が開催されるのに併せて、25日、アリオ亀有店において、県経済連会長、県漁連会長とともに、量販店経営者と本県農林水産物の販路拡大についての意見交換やパートナー宣言を行った。また、来店者へ本県農林水産物や特産品、観光のPRなど、トッパーズを行った。



イトーヨーカドーアリオ亀有店

あらじんつー えと
本県品種「新神2」を使った「干支ねずみ」。



県内各産地の花きの紹介や各花き団体の装飾展示、フラワーアレンジ・ガーデニング体験教室、フラワーデザインかごしまカップ2008決勝、フラワーオークションなどの催しを行い、期間中1万3千人の来場者でにぎわった。



県内各産地の花きの紹介。



フラワーデザインかごしまカップ2008決勝

2月1日(金)～3日(日)

フラワーフェスティバルかごしま2008

花きへの理解と関心を高めるため、本県の花を一堂に集めた「フラワーフェスティバルかごしま2008」を3日間にわたり鹿児島市の県民交流センターにおいて開催した。

2月5日(火)

国民保護共同図上訓練

県国民保護計画に基づき、関係機関の機能確認および相互の連携強化を図るため、国との初めての共同図上訓練を県庁講堂で実施した。薩摩川内市下甕島において、国籍不明のテロ



グループの襲撃により死傷者の発生したとの想定で、政府や市、警察、自衛隊、海上保安庁など39機、関約200人が参加した。県をはじめ各機関は、被害状況を確認するとともに、下甕島住民3千人の島外避難が必要との方針を決定し、民間の船舶会社等と調整を行うなど、避難・救援措置について訓練を実施した。

2月15日(金)

地域高規格道路「都城志布志道路」の通り初めおよび開通式典

2月15日、地域高規格道路「都城志布志道路」の松山インター～有明北インター間(約4km)が開通した。



これにより、既に供用している末吉インター～松山インター間とながり、約8kmの区間が供用開始された。開通前2月10日にはウォーキング大会が行われ、約800人の参加者が自動車専用道路からの景観を楽しんだ。また、開通式当日は、地元小学生も参加して、くす玉開披などにより、開通を祝った。

韓国にあって日本にないもの、それは陸続きの「国境」。

在大韓民国日本国大使館 鶴丸寛人



▲展望台からの北の風景。

朝鮮半島を分断する「北緯38度線」。鹿児島島の皆様もご存じでしょう。「板門店」で南北分断の現場を体験された方もいらっしゃるでしょう。

さて、韓国には、「北緯38度線」より北に位置する街があるのをご存じでしょうか。ソウルから車で4時間、日本海に面した「束草(ソクチョ)」という市がそれです。

この街、特に紅葉シーズンには多数の人が訪問する有名な「雪嶽山(ソラクサン)」のほか、豊富な海の幸が味わえるなど、観光地としても変化に富んだ所なのですが、朝鮮戦争時に北から避難し、そのまま帰れなくなった人々が多数住む街でもあり、国境に一番近い街でもあります。

さて、「北緯38度線給油所」という印象的な名のガソリンスタンドを横目に束草の街を北上すること1時間、統一展望台に到着。展望台の眼下には、「国境」をまたぐ道路と線路があり、右手には日本海が見え、また目の前には朝鮮半島有数の観光地である「金剛山」など、北朝鮮の山々がはつきりと確認できます。もちろん、互いの国から国境を越えて行くことは不可能です。(現在、韓国側から北朝鮮の一部地域に限っては、観光名目で行くことは可能ですが、私の立場としては、行くことを勧めることはできません。)

双眼鏡で北を眺めワイワイ騒いでいる韓国の人々も、同じ言葉話すのになぜ自由に行き来することができないのかと不思議なものでしょう。歴史の重み、政治の重み、国を護る人々のありがたさなどを感じる場所です。

つの日か「国境」の無くなる日が来ることを願いながら、展望台を降り、ソウルへの帰路に着きました。



▲韓国軍に見つかった北朝鮮の潜水艦。

PRESENTS

プレゼントコーナー

「鹿児島県のS物語」

県内各地の“スペシャル”な特産品をプレゼントします。



新茶さつまみどり(特西郷)を抽選で5名様にプレゼント。



鹿児島のお茶は全国第2位の生産量を誇っており、県内各地で生産している。

温暖な気候のもとで生産された「日本一早い走り新茶」は広く知られており、安全かつ良質なお茶を消費者へ提供。クリーンな「かごしま茶」づくりにも関係者一体となって積極的に取り組んでいる。

今回は鹿児島県優良規格茶の規格審査に合格した鹿児島県を代表するお茶をプレゼント。

【鹿児島県茶商業協同組合】

〒891-0122 鹿児島市南栄3-11

TEL 099 (267) 0182 FAX 099 (267) 0575

- 応募方法/ハガキ、FAXまたは電子メールに「グラフかごしま」に関するご意見・ご感想、郵便番号、住所、氏名、年齢、職業、電話番号をご記入の上、下記までお送りください。いただいた個人情報は、プレゼントの送付以外の目的には利用しません。※当選者の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。
- ハガキ宛先/〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1 鹿児島県庁広報課「グラフかごしまプレゼント」係
- FAX/099(286)2119
- メールアドレス/h-kikaku@pref.kagoshima.lg.jp (件名は「グラフかごしまプレゼント」)

【締切】平成20年4月30日(水)必着



「鹿児島ブランドショップ」(県産業会館1階)

篤姫フェア開催中

県内の特産品の問い合わせ、ご用命は
鹿児島ブランドショップへ

鹿児島県特産品協会

〒892-0821 鹿児島市名山町9-1

鹿児島県産業会館内

☎099-225-6120 FAX099-223-0755

店休日 第1・3日曜日 ●営業時間 午前9時～午後6時

東京店 〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-6-4

千代田ビル3階 かごしま遊楽館内

☎03-3506-9171 FAX03-3506-9172

ホームページURL <http://www.kagoshima-tokusanhin.or.jp>

